

第115期
中間
報告書

株主のみなさまへ

2017 / 12 / Vol.54



DOWA

証券コード:5714

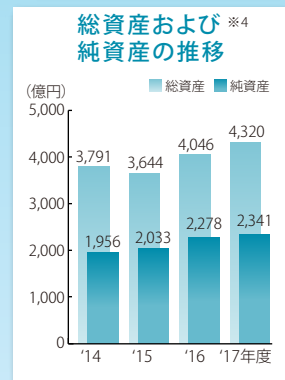
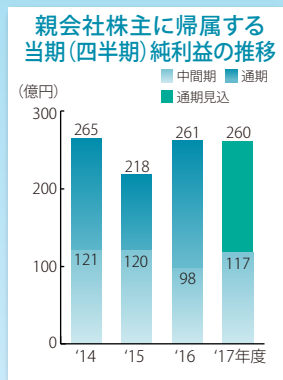
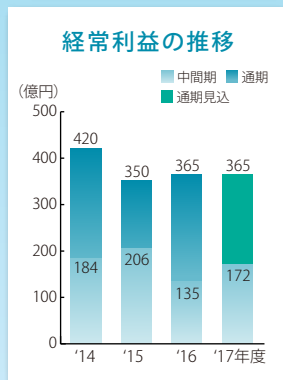
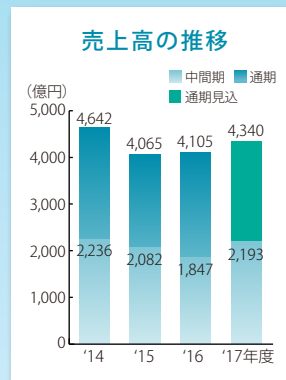
連結決算ハイライト

	2014年度 (2015年3月期)	2015年度 (2016年3月期)	2016年度 (2017年3月期)	2017年度見込 (2018年3月期)	2017年度中間期 (2018年3月期中間期)
売上高 (億円)	4,642	4,065	4,105	4,340	2,193
営業利益 (億円)	390	350	339	340	146
経常利益 (億円)	420	350	365	365	172
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (億円)	265	218	261	260	117
総資産 (億円)	3,791	3,644	4,046	—	4,320
純資産 (億円)	1,956	2,033	2,278	—	2,341
1株当たり当期純利益 ^{※1} (円)	89.69	73.75	88.43	439.29	—
1株当たり配当金 ^{※1} (円)	18	18	18	90	—
1株当たり純資産 (円)	632.30	658.66	741.06	—	761.62
ROA ^{※2} (%)	11.4	9.4	9.5	8.7	—
ROE ^{※3} (%)	15.4	11.4	12.6	11.7	—
設備投資額 (億円)	172	229	265	279	113
減価償却費 (億円)	155	151	157	186	81
有利子負債 (億円)	866	811	798	—	946

※1 当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合しました。2017年度見込の「1株当たり当期純利益」「1株当たり配当金」は株式併合後の金額です。

※2 ROAは経常利益を期中平均総資産で割って計算しております。

※3 ROEは親会社株主に帰属する当期純利益を期中平均自己資本で割って計算しております。



※4 '17年度については中間期実績



2017年度(2018年3月期) 中間期の連結経営成績と 今後の取り組み

代表取締役社長
山田 政雄

2017年度中間期の連結経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2017年度中間期における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

自動車関連製品の需要は国内・海外ともに堅調であり、電子部品関連製品の需要は東アジアを中心に好調に推移しました。また、新エネルギー関連製品については、世界的に需要の伸長が継続しました。相場環境については、銅や亜鉛を始め金属価格は総じて上昇し、為替相場は概ね1ドル110円前後で推移しました。

当期は中期計画の最終年度に当たり、その基本方針である「成長の継続」に沿った各施策を着実に進めてきました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比345億円増の2,193億円、営業利益は同13億円増の146億円、経常利益は同36億円増の172億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同18億円増の117億円となりました。

(単位:億円)

	2016年度 上期実績	2017年度上期		増減	
		計画※	実績	前年同期比	計画比
売上高	1,847	2,080	2,193	345	113
営業利益	133	150	146	13	△3
経常利益	135	160	172	36	12
親会社株主に帰属 する四半期純利益	98	115	117	18	2

※2017年5月9日公表値

今後の取り組み

環境・リサイクル部門	廃棄物処理	：低濃度PCB廃棄物処理事業の強化、メルテックいわき(株)の立ち上げ
	土壌浄化	：自然由来汚染土壌の浄化事業推進、国内新規処分場の建設
	リサイクル	：海外集荷の強化、選別機能の充実による有価物回収の強化
	東南アジア	：新規拠点の開設や処理メニューの充実など廃棄物処理事業の拡大
製錬部門	貴金属銅	：小坂製錬(株)におけるスズの増産、原料対応力強化
	PGM(白金族)	：海外拠点拡充による原料集荷拡大、難処理原料への対応力強化
	亜鉛	：不純物対応力強化による年間22万トンの生産体制の確立 タイ加工工場の増強と東南アジアへの拡販
	資源開発	：ロス・ガトス亜鉛鉱山の建設
電子材料部門	半導体	：ヘルスケアセンサなどに向けた新規LEDの開発
	電子材料	：太陽光パネル向け銀粉の拡販
	機能材料	：記録材料・キャリア粉・フェライト粉のシェア向上・生産能力向上
	新規開発	：医療・殺菌向け深紫外LEDの拡販、導電材料のラインナップ拡充 自動車向け新規磁性材料のサンプルワーク拡大
金属加工部門	伸銅品	：自動車の電動化・知能化やIoT需要の拡大を捉えた銅合金の増産・拡販 中国・タイ・台湾拠点における加工強化
	めっき	：メキシコ工場の立ち上げ
	回路基板	：産業機械向けに加え電鉄・車載向けの拡販
熱処理部門	工業炉	：インド・北米などでの拡販、日本・インド・中国の製造ネットワークの強化 メンテナンス事業の収益力強化、新規設備の開発推進
	熱処理	：受注増に対応した国内各工場での能力増強 インドの新規2工場の建設、タイ、インドネシアでの能力増強



インドネシアの最終処分場



銅合金



小坂製錬(株)

2017年度(2018年3月期)の見通し

2017年度の業績予想については、売上高は前期比234億円増の4,340億円、営業利益は前期比並みの340億円、経常利益は前期比並みの365億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比並みの260億円を計画しております。今後も市場動向を見極めながら、引き続き各施策を着実に実行していきます。

また、このたび、2018年度から新たにスタートする「中

期計画2020」を策定しました。「成長市場における事業拡大」と「既存ビジネスでの競争力強化」を基本方針として、これまでの取り組みの成果を確実なものとするともに、さらなる成長に向けて経営資源を積極的に投入していきます(次ページで概要紹介)。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年度計画

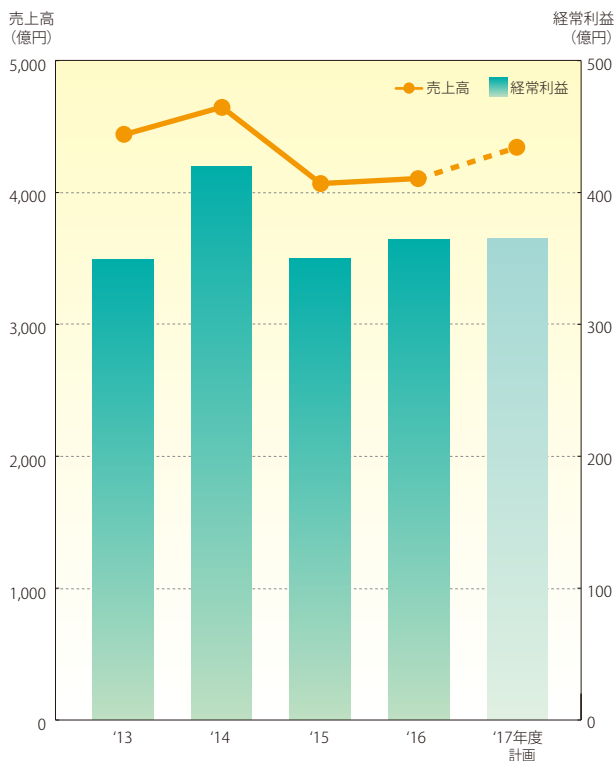
(単位:億円)

	2016年度実績	2017年度計画	増減
売上高	4,105	4,340	234
営業利益	339	340	0
経常利益	365	365	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	261	260	△1

相場前提

	2016年度		2017年度	
	上期実績	通期実績	上期実績	下期前提
為替 (¥/\$)	105.3	108.4	111.1	115.0
亜鉛 (\$/t)	2,084	2,367	2,780	2,700
銅 (\$/t)	4,752	5,154	6,005	5,500

これまでの業績推移と2017年度の計画



中期計画2020(2018年度~2020年度)の概要

基本方針

▶成長市場における事業拡大

「自動車」「情報通信」「環境・エネルギー」および「医療・ヘルスケア」の各分野へ経営資源を積極的に投入する

▶既存ビジネスでの競争力強化

成熟した国内市場における事業対応力の強化と製錬・リサイクル複合コンビナート機能の深化により、既存事業の収益力をより一層高める

事業戦略の要旨

環境・リサイクル部門	<ul style="list-style-type: none">▶ アジアNo.1の地位確立に向けて、既存事業の競争力向上を図り、各事業分野・地域においてシェア拡大と新規展開を加速する▶ 世界の環境動向を見据え、次の柱となる新規事業の礎を築く
製錬部門	<ul style="list-style-type: none">▶ 製錬・リサイクル複合コンビナート機能を深化させ、事業を強靱化する
電子材料部門	<ul style="list-style-type: none">▶ 新規事業を立ち上げ、新たなニッチトップ製品を育成し収益の柱とする▶ 自動車、医療などの成長市場へ事業領域をさらに広げる
金属加工部門	<ul style="list-style-type: none">▶ 自動車分野、IoT関連分野に注力し事業を拡大する▶ 事業環境変化に強い経営基盤を確立し、収益力をさらに高める
熱処理部門	<ul style="list-style-type: none">▶ 現行ビジネスモデルの強みを発揮し、さらなる収益拡大を図る▶ 新規事業領域への取り組みを推進する

経営数値

中期計画2020

経常利益 : 500億円
 ROA : 10%以上
 ROE : 12%以上
 投融資(3年間) : 1,100億円
 研究開発(3年間) : 200億円

参考

2017年度見込み

365億円

9%

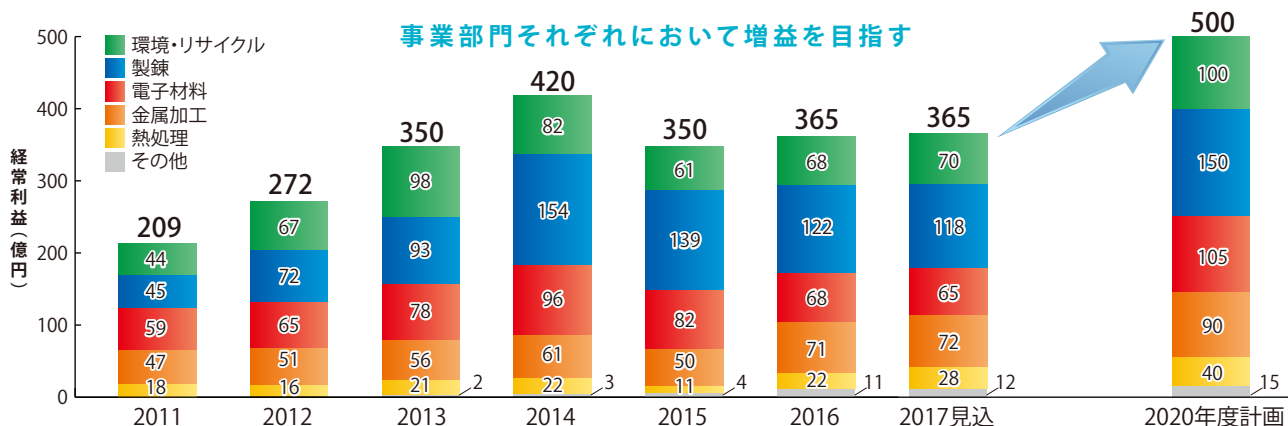
11%

822億円

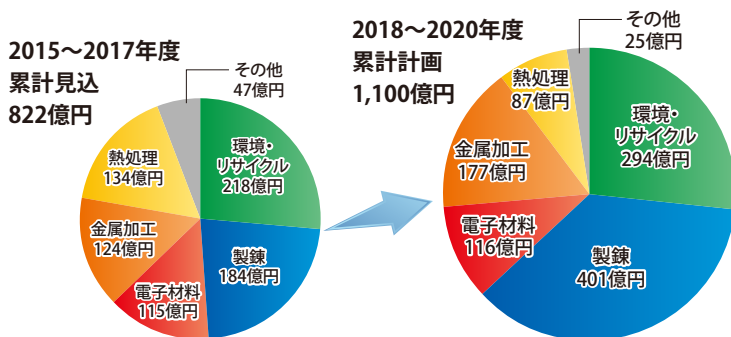
171億円

前提条件	中期計画2020	2017年度 上期平均
為替(¥/\$)	115	111.1
亜鉛(\$/t)	2,700	2,780
銅(\$/t)	5,500	6,005

経常利益の推移



投融資計画



主な項目

環境・リサイクル

インドネシアでの新処分場建設
廃棄物溶融・再資源化の強化

製錬

メキシコでの亜鉛鉱山建設
亜鉛製錬の不純物対応力強化

電子材料

新規製品の量産化設備

金属加工

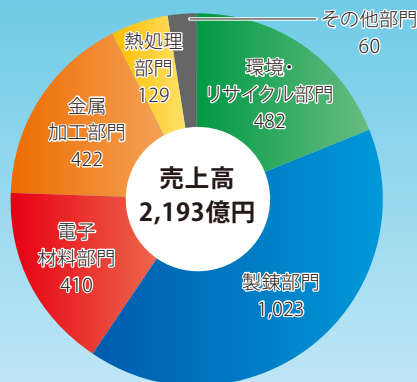
銅合金の生産能力増強

熱処理

インドでの熱処理工場建設

部門別の営業状況

部門別売上高構成 (2017年度 中間期)



※各部門の売上高には、連結調整による消去分337億円を含んでいます。

凡例 — 通期売上高 — 中間期売上高 — 通期営業利益 — 中間期営業利益

※'17年度の通期は見込です

環境・リサイクル部門

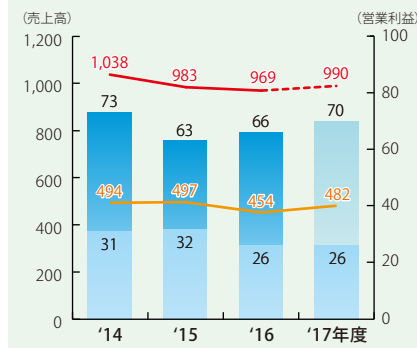
廃棄物処理事業では、国内の産業廃棄物発生量が横ばいのなか、集荷の拡大に努めました。土壌浄化事業では、自然由来汚染土壌に適応した浄化法での処理を進めました。リサイクル事業では、廃電子基板や廃家電の集荷拡大に努めました。東南アジア事業では、インドネシアやタイにおいて廃棄物処理の受注を伸ばしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比6%増の482億円、営業利益は同1%減の26億円となりました。



インドネシアの最終処分場

売上高・営業利益の推移 (単位:億円)



製錬部門

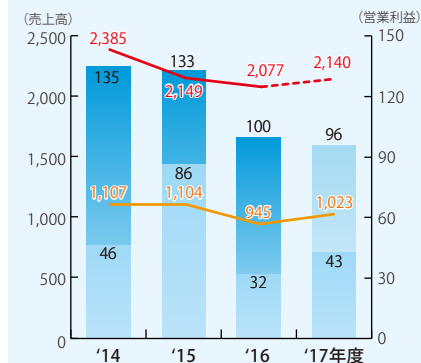
金属価格は総じて上昇し、為替相場は前年同期より円安水準で推移したなか、貴金属銅事業では、スズやアンチモンなど副産金属の回収を強化しました。また、PGM(白金族)事業では、使用済みの自動車排ガス浄化触媒からの回収量を増やしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比8%増の1,023億円、営業利益は同34%増の43億円となりました。



スズのインゴット

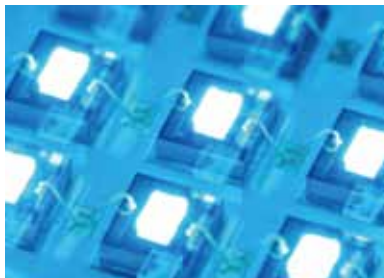
売上高・営業利益の推移 (単位:億円)



電子材料部門

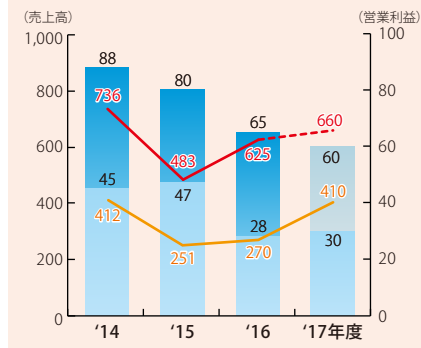
半導体事業では、各種センサ向けLEDの拡販に取り組むとともに、ヘルスケア機器向けなど新たな用途への展開を進めました。電子材料事業では、太陽光パネル向け銀粉での在庫調整が終了し、受注が回復しました。機能材料事業では、アーカイブ用データテープ向け磁性粉の拡販に取り組みました。

これらの結果に加え、銀粉の原料代を含む取り引きが増加したことにより、当部門の売上高は前年同期比52%増の410億円、営業利益は同6%増の30億円となりました。



深紫外LEDチップ

売上高・営業利益の推移 (単位:億円)



部門別の営業状況

金属加工部門

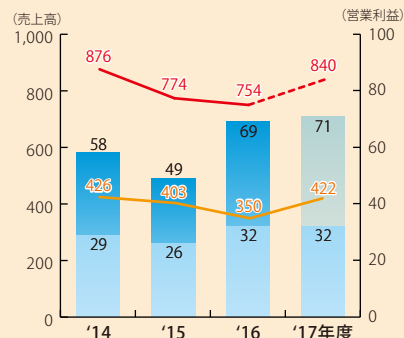
伸銅品事業では、国内外の自動車生産台数が増加するなか、自動車向けの販売を伸ばしました。また、東アジアにおいてスマートフォン向けの高強度品を拡販しました。めっき事業では、自動車の電装化需要を取り込み、受注は堅調に推移しました。回路基板事業では、産業機械向けの販売を伸ばしました。

これらの結果に加え、銅価格の上昇などもあり、当部門の売上高は前年同期比20%増の422億円、営業利益は同1%増の32億円となりました。



めっき製品

売上高・営業利益の推移 (単位:億円)



熱処理部門

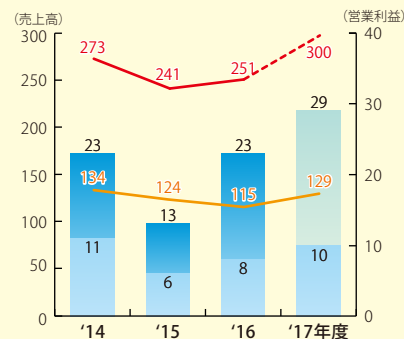
熱処理事業では、自動車産業の成長が続く海外地域での事業拡大を推進するなか、インドやタイ、中国において受注が増加しました。国内においても堅調な自動車向け需要を取り込みました。工業炉事業では、国内外で設備拡販を進め、メンテナンスの受注も増加しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比12%増の129億円、営業利益は同17%増の10億円となりました。



DOWA Thermotech (Thailand) Co., Ltd.

売上高・営業利益の推移 (単位:億円)



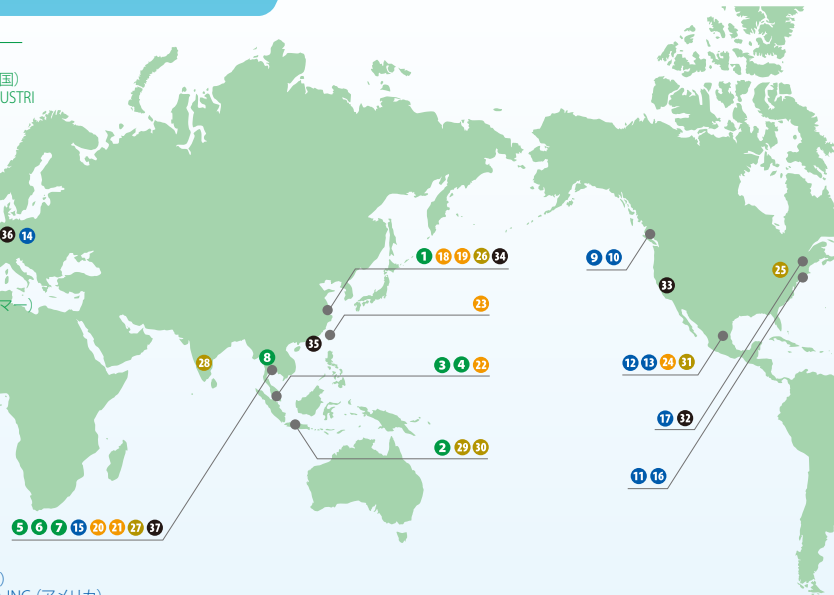
地図で見るDOWAグループ

DOWAエコシステム(株)

- 1 蘇州同和資源综合利用有限公司(中国)
- 2 PT. PRASADHA PAMUNAH LIMBAH INDUSTRI (インドネシア)
- 3 TECHNOCHEM ENVIRONMENTAL COMPLEX PTE. LTD. (シンガポール)
- 4 DOWA ECO-SYSTEM SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5 WASTE MANAGEMENT SIAM LTD. (タイ)
- 6 BANGPOO ENVIRONMENTAL COMPLEX LTD. (タイ)
- 7 EASTERN SEABOARD ENVIRONMENTAL COMPLEX CO., LTD. (タイ)
- 8 GOLDEN DOWA ECO-SYSTEM MYANMAR COMPANY LIMITED (ミャンマー)

DOWAメタルマイン(株)

- 9 バンクーバー事務所(カナダ)
- 10 CARIBOO COPPER CORPORATION (カナダ)
- 11 NIPPON PGM AMERICA, INC. (アメリカ)
- 12 メキシコ事務所
- 13 MINERA TIZAPA, S.A. DE C.V. (メキシコ)
- 14 Nippon PGM Europe s.r.o. (チェコ)
- 15 DOWA METALS & MINING (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 16 KEY METAL REFINING, LLC (アメリカ)
- 17 DOWA METALS & MINING AMERICA INC. (アメリカ)



DOWAメタルテック(株)

- 18 同和金属材料(上海)有限公司(中国)
- 19 同和新材料(上海)有限公司(中国)
- 20 DOWA METALTECH (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 21 Dowa Precision (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 22 シンガポール支店
- 23 同和利精密部品股份有限公司(台湾)
- 24 DOWA METALTECH MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ)

DOWAサーモテック(株)

- 25 DOWA THT AMERICA, INC. (アメリカ)
- 26 昆山同和熱処理工業炉有限公司(中国)
- 27 DOWA Thermotech (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 28 HIGHTEMP FURNACES Ltd. (インド)
- 29 PT. DOWA THERMOTECH INDONESIA (インドネシア)
- 30 PT. DOWA THERMOTECH FURNACES (インドネシア)
- 31 DOWA THERMOTECH MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ)

その他

- 32 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION (アメリカ)
- 33 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION サンノゼ事務所(アメリカ)
- 34 同和企業管理(上海)有限公司(中国)
- 35 同和企業管理(上海)有限公司 深圳分公司(中国)
- 36 DOWA HD Europe GmbH (ドイツ)
- 37 DOWA HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

DOWAエコシステム(株)

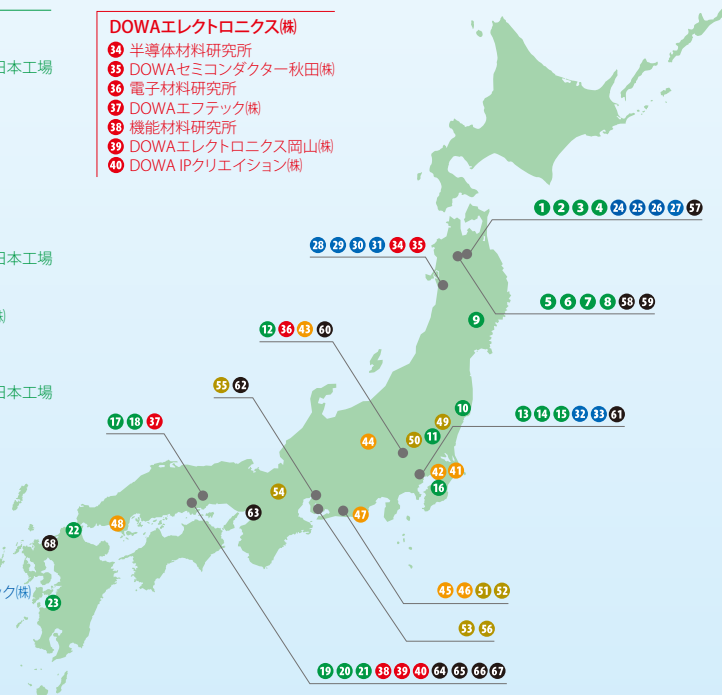
- 1 グリーンフィル小坂(株)
- 2 エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場
- 3 エコシステム小坂(株)
- 4 オートリサイクル秋田(株)
- 5 環境技術研究開発センター
- 6 エコシステム秋田(株)
- 7 エコシステム花岡(株)
- 8 株エコリサイクル
- 9 DOWA通運(株)
- 10 メルテックいわき(株)
- 11 メルテック(株)
- 12 エコシステムリサイクリング(株) 東日本工場
- 13 エコシステムジャパン(株)
- 14 ジオテクノス(株)
- 15 イー・アンド・イー ソリューションズ(株)
- 16 エコシステム千葉(株)
- 17 エコシステム山陽(株)
- 18 岡山鉱油(株)
- 19 エコシステムリサイクリング(株) 西日本工場
- 20 エコシステム岡山(株)
- 21 バイオディーゼル岡山(株)
- 22 光和精鉱(株)
- 23 アクトビーリサイクリング(株)

DOWAメタルマイン(株)

- 24 製錬技術研究所
- 25 小坂製錬(株)
- 26 株日本ピージーエム
- 27 秋田リサイクル・アンド・ファインパックス(株)
- 28 秋田製錬(株)
- 29 秋田ジンクリソリューションズ(株)
- 30 秋田レアメタル(株)
- 31 秋田ジンクリサイクリング(株)
- 32 株アシックス
- 33 ジンクエクセル(株)

DOWAエレクトロニクス(株)

- 34 半導体材料研究所
- 35 DOWAセミコンダクター秋田(株)
- 36 電子材料研究所
- 37 DOWAエフテック(株)
- 38 機能材料研究所
- 39 DOWAエレクトロニクス岡山(株)
- 40 DOWA IPクリエイション(株)



DOWAメタルテック(株)

- 41 新日本プラス(株)
- 42 豊栄商事(株)
- 43 DOWAハイテック(株)
- 44 DOWAパワーデバイス(株)
- 45 技術センター
- 46 DOWAメタル(株)
- 47 DOWAメタニクス(株)
- 48 TDパワーマテリアル(株)

DOWAサーモテック(株)

- 49 DOWAサーモエンジニアリング(株) 真岡工場
- 50 DOWAサーモエンジニアリング(株) 太田工場
- 51 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松工場
- 52 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場
- 53 DOWAサーモエンジニアリング(株) 中京半田工場
- 54 DOWAサーモエンジニアリング(株) 滋賀工場
- 55 株セム
- 56 東熱興産(株)

その他

- 57 DOWAテクノリサーチ(株)
- 58 卯根倉鉱業(株)
- 59 秋田工管(株)
- 60 DOWAテクノロジー(株) 関東テクノセンター
- 61 本社
- 62 DOWAグループ名古屋支店
- 63 DOWAグループ大阪支店
- 64 DOWAテクノロジー(株) 西部テクノセンター
- 65 DOWAテクノエンジニア(株)
- 66 陽和工管(株)
- 67 DOWA興産(株)
- 68 DOWAグループ九州支店

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2016年度 2017.3.31	2017年度 中間期 2017.9.30	比較増減
資産の部			
流動資産	194,824	216,577	21,753
現金及び預金	15,589	13,165	△2,423
受取手形及び売掛金	80,169	83,207	3,037
たな卸資産	81,801	103,618	21,816
その他流動資産	17,263	16,586	△676
固定資産	209,780	215,502	5,722
有形固定資産	118,553	121,308	2,754
無形固定資産	9,950	9,526	△424
投資その他の資産	81,275	84,667	3,391
資産合計	404,604	432,080	27,476

流動資産のポイント

原材料及び貯蔵品が186億円、受取手形及び売掛金が30億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比217億円の増加となりました。

固定資産のポイント

投資有価証券が32億円、有形固定資産が27億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比57億円の増加となりました。

総資産のポイント

以上の結果、前連結会計年度末比274億円の資産増加となりました。

(単位:百万円)

科目	2016年度 2017.3.31	2017年度 中間期 2017.9.30	比較増減
負債の部			
流動負債	121,114	143,835	22,720
支払手形及び買掛金	34,268	38,044	3,776
短期借入金	38,956	42,795	3,838
コマーシャル・ペーパー	12,000	25,000	13,000
その他流動負債	35,889	37,994	2,105
固定負債	55,667	54,120	△1,546
社債	10,000	10,000	—
長期借入金	18,926	16,851	△2,075
その他固定負債	26,740	27,269	528
負債合計	176,782	197,955	21,173
純資産の部			
株主資本	202,894	209,025	6,130
資本金	36,437	36,437	—
資本剰余金	26,350	26,222	△128
利益剰余金	145,809	152,069	6,259
自己株式	△5,703	△5,703	△0
その他の包括利益累計額	16,408	16,362	△46
非支配株主持分	8,518	8,736	218
純資産合計	227,821	234,124	6,302
負債及び純資産合計	404,604	432,080	27,476

負債のポイント

有利子負債が147億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比211億円の増加となりました。

純資産のポイント

親会社株主に帰属する四半期純利益を117億円計上し、配当金の支払いなどを行った結果、株主資本が61億円増加しました。この結果、自己資本比率は52.2%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2016年度 中間期 2016.4.1~ 2016.9.30	2017年度 中間期 2017.4.1~ 2017.9.30	比較増減
売上高	184,758	219,302	34,544
売上原価	154,537	187,084	32,547
売上総利益	30,221	32,217	1,996
販売費及び一般管理費	16,887	17,545	657
営業利益	13,333	14,672	1,338
営業外収益	1,914	3,504	1,590
営業外費用	1,661	918	△743
経常利益	13,586	17,258	3,672
特別利益	442	142	△300
特別損失	516	382	△134
税金等調整前四半期純利益	13,512	17,018	3,506
法人税等	3,704	5,029	1,324
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△72	255	328
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,879	11,733	1,853

損益計算書のポイント

売上高は前年同期比345億円増の2,193億円、営業利益は同13億円増の146億円、経常利益は同36億円増の172億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同18億円増の117億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2016年度 中間期 2016.4.1~ 2016.9.30	2017年度 中間期 2017.4.1~ 2017.9.30	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,739	416	△10,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,886	△12,249	△362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	9,191	10,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△692	△40	652
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,103	△2,681	421
現金及び現金同等物の期首残高	18,902	15,126	△3,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,798	12,702	△3,096

営業キャッシュ・フローのポイント

税金等調整前四半期純利益が170億円、減価償却費が81億円となった一方で、たな卸資産が215億円増加したことなどにより、4億円の収入となりました。

投資キャッシュ・フローのポイント

主に有形固定資産の取得による支出106億円などにより、122億円の支出となりました。

財務キャッシュ・フローのポイント

有利子負債の借入152億円と配当金の支払い55億円などにより、91億円の収入となりました。

取締役・監査役



代表取締役社長

山田 政雄



取締役

光根 裕



取締役

中塩 弘



取締役

松下 克治



取締役

加賀谷 進



社外取締役

細田 衛士



社外取締役

小泉 淑子



監査役(常勤)

雪竹 克也



社外監査役(常勤)

小林 英文



社外監査役

武田 仁



社外監査役

中曾根 一夫

執行役員



上席執行役員
DOWAサーモテック(株)
代表取締役社長

住田 敏郎



上席執行役員
DOWAエレクトロニクス(株)
代表取締役社長

大塚 晃



執行役員
DOWAエコシステム(株)
代表取締役社長

飛田 実



執行役員
DOWAメタルマイン(株)
代表取締役社長

関口 明



執行役員
DOWAメタルテック(株)
代表取締役社長

菅原 章



執行役員
DOWAテクノロジー(株)
代表取締役社長

山田 潔

会社概要・株式の状況 (2017年9月30日現在)

会社概要

創業	1884年9月18日	主な事業内容
設立	1937年3月11日	環境・リサイクル事業、
資本金	364億37百万円	製錬事業、電子材料事業、
DOWAグループ の社員数	約6,400人	金属加工事業、 熱処理事業

株式の状況

会社が発行する株式の総数	1,000,000,000株
発行済み株式の総数	309,946,031株
株主数	11,052名

大株主

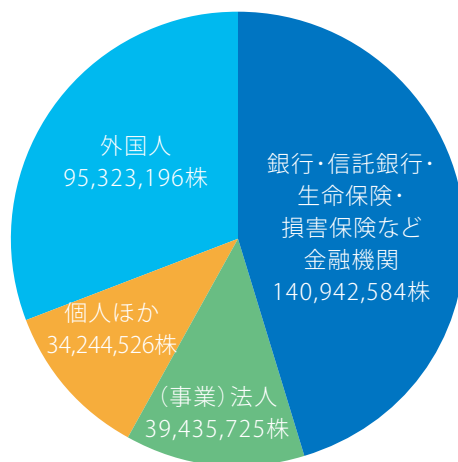
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9.54%
藤田観光株式会社	4.79%
全国共済農業協同組合連合会	3.06%
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	2.44%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2.09%
JFEスチール株式会社	1.87%
株式会社みずほ銀行	1.60%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1.54%
日本生命保険相互会社	1.54%

当社は自己株式9,433千株を保有しており、持分比率については、自己株式を控除しております。

主要子会社

DOWAエコシステム(株)	環境・リサイクル事業会社
DOWAメタルマイン(株)	製錬事業会社
DOWAエレクトロニクス(株)	電子材料事業会社
DOWAメタルテック(株)	金属加工事業会社
DOWAサーモテック(株)	熱処理事業会社

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移

当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合しました。このグラフは株価と出来高を併合後の数値に調整して表記しております。



株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
法定公告掲載新聞	日本経済新聞(東京)
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵 便 物 送 付 先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	電話番号 0120-782-031(フリーダイヤル)
(ホームページアドレス)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <http://www.dowa.co.jp>

表紙写真：DOWAセミコンダクター秋田(株)の社員

